

迎春

気候変動 政界裏金
止められない戦争
いまこそ本気になって、
政治を市民共闘に変え
ていきましょう。



2024年

民報編集部

「鶴岡型小中一貫教育」の記 録文書から疑問が・・・

今年は「鶴岡型小中一貫教育」、そのモデルとする藤島地域の小中一貫校・義務教育学校が決定されるかどうか、正念場となります。

小中一貫校は、学校統廃合を進める手段として、県内でも次々と導入されています。

鶴岡市もなぜ取り組むのか、本当の目的を知りたいと、党市議団

が公文書の開示請求をしました。が、「起案文書」にあたる記録は見あたりませんでした。

しかし、記録の経過をたどると、様々な疑問が生まれました。

ふじしま学園（仮称）

「小中一貫教育の検討」が、記録に出てくるのは、令和2年4月7日の「学校適正配置の検討」の打合せです。

令和3年4月9日までは、「藤島小・渡前小・東栄小を統合し、小中併設校を検討する」で、「併設」です。

それが、同年4月28日には、「小中一貫校」に転換しました。

この時の打ち合わせには、成田讓藤島支所長

が出席し、同時に藤島中学校建設期成同盟会（案）も提示されています。

なぜ「併設」から「一貫校」に転換したか、起案文書の記録がないので不明です。

令和4年4月14日の打ち合わせでは、「モデル校『ふじしま学園』（仮称）R11年度開校を目指す」とされています。

個別から全市へ

3年7月15日の打ち合わせは、「全市的な計画でなく・・・個別に学区再編を考える」と、藤島地域だけでした。

それが、4年6月13日の市長打ち合わせでは、「鶴岡型」になり、なぜ全市展開になったのか、これも起案記録がないため不明です。

おそらく、藤島だけ進めれば、「教育格差」を認めることになり、憲法と教育基本法の「教

ふるさと賛歌 18

鈴木重雄（八色木）

八色木薬師如来像

八色木薬師瑠璃光如来像は、御身丈1寸8分、胎内像（仏像の胎内に納められている小型の仏像）である。

現在の像は、座像で総身丈2尺7寸7分、膝高1尺7分、膝張9寸3分、髭の生え方には平安期の名残が見られる。

印相は施無畏である。施無畏（せむい）とは、右手または左手の5指

を伸ばし、手のひらを外に向けて肩の高さに上げる印相。仏が衆生に施無畏の徳を与えることを象徴する。

左手に薬壺を持つ坐り方は、左足の上に右足を置く吉祥座（きちじょうざ）である。

収納具の厨子は、総高3尺2寸5分、黒塗り仕上げで、戸川安章先生によると、元禄初期の作と思われるという。



如来像御身体

尊像御身大

一寸八分

座像総身大

二尺七寸七分

育の機会均等」の原則に反するとの批判を受けるからと思われます。

建設費90億円か？

学校改築費用は、藤中で概算46億円（令和4年4月14日内部会議・資料）とされ、義務教育学校は現在の藤中の倍の規模となることから、90億円もの建設費用となるのでしょうか。

そうなれば、文化会館の時のように、市民の批判は免れません。

選ばれる学校と地域

教育学者や心理学者の調査研究では、「一貫校の生徒は、ネガティブなまま推移し、問題を抱えている」と指摘されています（「小中一貫教育の実証的検証」）。

中高一貫校の「致道館」に進む生徒に、小中一貫校は無意味です。

きちんと小学校の発達を達成できる学校が選ばれ、藤島地域から三川町へ、さらに転居が進む心配があります。

東田川史跡物語

巡幸は何故行われたのか

青山 崇

「余は独りではない。敬うべき多くの人がいる。あわせて國家萬世の慶のためなり。是於一言述べておく。」『駐

蹕之碑』の最後の文である。

ここに巡幸の意義が集約されている。

天皇とともに10名ほどの政府首脳と従者も含め約350名という大集団である。

それでも行く先の宿舎などが整はず、6割

ほどに減らした結果ともいわれている。

「明治天皇の巡幸」の初めに巡幸の目的を示した。

如何に達成するか。

明治初年には150、60件の一揆が起り、10年代には自由民権運動が最盛期を迎えるという、政情不安定な時期である。

そのような状況下で、天皇と国民を統合させ、統合の象徴としての天

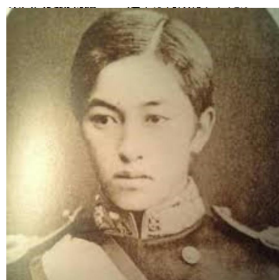
皇像をつくるか。考え出されたのが巡幸である。

それは、天皇の一方通行でなく、庶民との相互交流で一体感・統合をつくることであつた。

例えば、天皇は恩賜や下賜を多様な人々に与え、国民は特産品などを献上。また国民の生業である農作業・漁業などを観覧した。

最後の文は巡幸の目的の核心を述べたものである。天皇は一人孤立したものではなく、いつも国民とともにある。「一言述べる」としさらに強調している。

山形県巡幸は左大臣熾仁親王、参議大隈重信、北海道開拓長官黒田清隆らが参加



有栖川宮熾仁親王（ありすがわのみや たるひとしんのう）



大隈重信（第8代首相）



黒田清隆（第2代首相）



どうなってるんだや

謹賀新年 ご愛読ありがとうございます。

▲「戦争を直ちにやめろ」という請願が12月議会で不採択になったとは、どういうことなんだ？ 事はどこで起きていようが「戦争はやめてくれ」という、素直に平和を求める事がいけないと言うんですか？不採択が議会で決まれば、鶴岡市民の声という事になるんですよ。反対討論は公明党の議員も。この党世間で言われている事は、平和を求めている宗教がバックのはず。何が何であれ、テレビに流れるあの惨状だヨ。直ちに戦争はやめろ・と思わないんですか反対の方々。そして、それが市民の声とされることには納得できない。どうしてくれるんだ？

この件では、いつもアメリカの顔色を窺っている日本が、国連の総会でアメリカが反対でも戦争を直ちにやめろ・に賛成したんだ。▲この件の先の号に、欠陥機オスプレイの事を書いたんだが、そのことを伝えるニュースが変だったでしょ。「何が原因だか判るまで飛ばすな」と日本が米国に言ったとの報道。これに米国は、正式にそんな申し入れはなかったと反論して何日間たか飛ばしていたんだ。という事は、日本政府が国民にウソをついたという事になる。向こうの言う事にナンダド・と反論しないんだからサ。んだろ？そして、これを問題にした報道を見ていないんだ。日本のマスコミもどうなっているんだや・と思いましたネー。政府の弱腰をいさめる報道に期待だ。（石川）

公文書開示による小中一貫教育と小中一貫校の検討経過

令和2年4月7日	令和2年度主要課題(年間スケジュール)の「学校適正配置の検討」の課題に「小中一貫校の検討」
令和2年10月13日	藤中改築に係る地元議員との意見交換会で、齋藤久議員が「小中一貫校の考え方もある」、小野由夫議員が「小学校も一つになるときが来る」、教育長は「小中併設校が期待」
令和2年10月14日	市長ヒアリング資料で「藤島小・渡前小・東栄小を統合し小中併設校を検討する」。旧町村は将来的に基本小学校1、中学校1とする。
令和3年4月9日	令和3年度主要課題(年間スケジュール)の「学区改編(学校適正配置)」の「実施方針・内容」に「小中一貫校の検討」「藤島小・渡前小・東栄小を統合し小中併設校を検討する」。
↓「小中併設校」から「小中一貫校」に転換。起案文書の記録なし。	
令和3年4月28日	学校適正配置に関する打合せ会（第1回）成田藤島支所長出席。文科省の小中一貫教育校の資料提出。藤島地域文厚エリア未来プラン(案)で、「小中一貫校」と藤島中学校建設期成同盟会(案)を提示。
令和3年7月15日	学校適正配置に関する打合せ会（第2回）進捗状況の確認。藤島庁舎から支所長、総務企画課長らが出席。校舎改築と小中一貫教育は学校適正配置に位置付け。全市的な計画でなく、・・・個別に学区再編を考える。
令和4年4月14日	内部会議（市長、副市長、教育長、企画部、建設部、教育委員会）藤島文厚エリアにおける教育委員会の基本方針：新校舎は施設一体型とし、モデル校「ふじしま学園」（仮称）R11年度開校を目指す。「藤島文厚エリア未来プラン検討委員会教育部会」にて検討。併設型小・中一貫校を豊浦・朝日・温海地域にも。藤中の改築費用概算46億円、改修費用概算8～10億円
↓「全市的な計画でない」が、全市的な「鶴岡型小中一貫教育」に転換。起案文書の記録なし。	
令和4年6月13日	市長打合せ：教育長、総務部長、教育委員会、成田支所長、小林総務課長出席。第1回総合教育会議について。協議議題に「鶴岡型小中一貫教育」骨子について。市長から「財政課長、職員課長等と調整すること。藤島の地域住民との関係をよく考えること」を指示。（「鶴岡型」を付した理由が不明）
令和4年6月14日	施行例：第1回市総合教育会議（6/21）の開催について。
令和4年6月21日	第1回市総合教育会議で「鶴岡型小中一貫教育」骨子案を議題にし、決定（公式会議で初めて提案・可決）
↓「藤島文厚エリア未来プラン検討委員会教育部会」にて検討が、「藤島地域振興懇談会」で「藤島地域教育振興会議」を設置して、意見集約に転換。起案文書の記録なし。	
令和4年8月26日	第1回藤島地域振興懇談会で藤島地域教育振興会議の設置を決定。懇談会の設置要綱では、意見交換・議論、協議する場で、決定や合意を得る条項はない。設置に瑕疵がある。
令和4年10月7日	第1回藤島地域教育振興会議。設置要綱で、第1条の設置「藤島地域の教育環境及び教育振興の今後の在り方の検討に資するため」としているが、第5条の会議では、何を協議するのか、テーマの明記がなく、「会議の議事は、出席委員の過半数で決し、」として、決定するための会議。
令和5年10月17日	第7回藤島地域教育振興会議。設置要綱に「小中一貫教育」の言葉がないのに、「藤島中学校改築にあたり、小学校・中学校施設一体型の小中一貫校（義務教育学校）の整備を基本とする」決定。